

		施策	取組の方向性	評価指標(案)	現状値	目標値(案)	把握方法	備考			
基本方針Ⅰ	健康寿命の延伸にむけた食育	生活習慣病の発症と重症化予防	健康的な食生活の普及推進	継続	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合	45.8% (R4)		なら健康長寿基礎調査	1		
				継続	1日あたりの野菜摂取量(20歳以上男女)	男性 279g (H28) 女性 263g (H28)		国民健康・栄養調査(厚生労働省)	R6年 大規模調査 R10年 大規模調査	2	
				継続	1日あたりの食塩摂取量(20歳以上男女)	男性 10.6g (H28) 女性 9.2g (H28)		国民健康・栄養調査(厚生労働省)	R6年 大規模調査 R10年 大規模調査	3	
				新設	果物を1日200g以上食べている人の割合(20歳以上男女)	男性 20.2% (R3) 女性 18.9% (R3)		県民健康・食生活実態調査	R7年 調査実施予定 R10年 調査実施予定	4	
				継続	適正体重(BMI18.5以上25未満(65歳以上はBMI20を超え25未満))の者の割合(20歳以上男女)	68.8% (R4)		なら健康長寿基礎調査		5	
				新設	人と比較して食べる速度が速い人の割合	今後把握		なら健康長寿基礎調査	R5年10月 調査実施予定	6	
		職場における食育の推進	新設	「職場まるごと健康宣言」をする事業所の数	890社 (R4年2月)		全国健康保険協会奈良支部調べ		7		
			新設	栄養バランスや減塩に配慮した食事を提供する社員食堂の割合	(28/53) 52.8%(R4)		保健所調べ		8		
			継続	主食・主菜・副菜のそろった食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている人の割合(20~50歳代男女)	37.3% (R4)		なら健康長寿基礎調査		9		
			継続	肥満者(BMI25以上)の割合(20~60歳代男性)	34.4% (R4)		なら健康長寿基礎調査		10		
		高齢者の健康づくり	フレイル・低栄養予防の推進	新設	地域等で共食している者の割合	今後把握		なら健康長寿基礎調査	R5年10月 調査実施予定	11	
				新設	フレイルについて、「言葉も意味もよく知っている」「言葉も知っているし、意味も大体知っている」人の割合	18.7% (R3)		県民健康・食生活実態調査	R7年 調査実施予定 R10年 調査実施予定	12	
				継続	低栄養傾向の高齢者(65歳以上 BMI 20以下)の者の割合	21.2% (R4)		なら健康長寿基礎調査		13	
			オールフレイル予防の推進	新設	60歳代における咀嚼良好者の割合	70.7% (R4)		なら健康長寿基礎調査		14	
		自然に健康になれる食環境づくり	食品関連事業者における食育の推進	継続	やさしおベジ増しプロジェクト参加協力店の数	58店舗(R4)		健康推進課調べ		15	
			給食を通じた食育の推進	新設	管理栄養士・栄養士を配置している給食施設(病院・介護老人保健施設・介護医療院を除く)の割合	(471/755) 62.4% (R4)		衛生行政報告例(厚生労働省)		16	
基本方針Ⅱ	次世代の健全な食習慣形成のための食育	健やかな発育、基本的な生活習慣の形成	保育所・幼稚園等における食育の推進	継続	食を通じた保護者への支援ができていると回答する保育所等の割合	66.4% (R4)		奈良っ子はぐくみ課調べ		17	
			小・中学校等における食育の推進	新設	栄養教諭等と連携して食に関する指導を実施している小中学校の数(割合)	今後把握		健康・安全教育課調べ	R5年 調査実施予定	18	
				継続	朝食を毎日食べないと回答する児童・生徒の割合	小5男子 1.5% (R4) 小5女子 1.1% (R4) 中2男子 3.0% (R4) 中2女子 2.4% (R4)		健康・安全教育課 全国体力・運動能力調査・運動習慣等調査(スポーツ庁)		19	
				継続	児童・生徒における肥満傾向児(中等度・高度肥満傾向)の割合(小学5年生男女)	小5男子 7.12% (R3) 小5女子 3.62% (R3)		学校保健統計調査(文部科学省)		20	
		子育て家庭・地域における食育の推進	新設	食育について、「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答する人の割合	66.8% (R3)		県民健康・食生活実態調査	R7年 調査実施予定 R10年 調査実施予定	21		
		健全な食生活の定着と実践	若い世代に対する取組	新設	BMI18.5未満の20~30歳代の女性の割合	20.3% (R4)		なら健康長寿基礎調査		22	
				新設	朝食を「ほとんど食べない」若い世代(20歳、30歳代)の割合	17.1% (R3)		県民健康・食生活実態調査	R7年 調査実施予定 R10年 調査実施予定	23	
基本方針Ⅲ	奈良の食の魅力を向上させるための食育	奈良の食の理解と実践	地産地消の推進	継続	協定直売所「地の味 土の香」の売上額	99.3億円 (R3)		豊かな食と農の振興課調べ		24	
				継続	学校給食における奈良県産食材を使用する割合が現状値より維持増加した市町村の数	—		健康・安全教育課調べ	県産食材の使用割合 29.5% (R4)	25	
			食文化(郷土食)の継承	新設	学校給食で郷土料理や伝統料理を月に1回以上提供する市町村の数	今後把握		健康・安全教育課調べ	R5年 調査実施予定	26	
基本方針Ⅳ	食を支える環境づくり	食育推進のための体制整備	食の担い手の育成と活動支援	継続	食育ボランティアの数	4775人(R4)		食育推進計画等に関する調査(農林水産省)		27	
				新設	野菜摂取量が増加した市町村の数 ※BDHQ調査による評価	—		県民健康・食生活実態調査	R7年 調査実施予定 R10年 調査実施予定	28	
				新設	食塩摂取量が減少した市町村の数 ※BDHQ調査による評価	—		県民健康・食生活実態調査	市町村別の現状値(参考資料3)	29	
				新設	「塩分を取り過ぎないようにすること」に気を付けている者の割合が増加した市町村の数	—		県民健康・食生活実態調査		30	
				新設	「野菜をたくさん食べるようにすること」に気を付けている者の割合が増加した市町村の数	—		県民健康・食生活実態調査		31	
		社会情勢の変化に対応した食育	多様な主体による食育の推進	新設	こども食堂を設置する小学校区の割合	42.9% (R4)		こども家庭課調べ		32	
				食品ロスの削減にむけた食育の推進	新設	食品ロス削減のために何らかの行動をしている県民の割合	今後把握		豊かな食と農の振興課調べ	R5年 調査実施予定	33
				食の安全安心の取組推進	継続	食品衛生監視計画にもとづく監視指導の年間割合	調整中		消費・生活安全課調べ		34
				デジタル化に対応した食育の推進	—	—	—		—	—	35
				災害時の備えの推進	新設	災害時の非常用食料等を備蓄している人の割合	今後把握		県民健康・食生活実態調査	R7年 調査実施予定 R10年 調査実施予定	35

現在、他の関連計画と調整中のため、次回以降の会議で提示する予定

参考: 第3期計画の評価指標のうち、第4期計画に継続しなかったもの

- 野菜摂取の増加、減塩を目的とした事業に取り組む市町村数 → 取組の結果を評価するため、市町村別に野菜摂取量、食塩摂取量、住民意識の変化について、新たに指標を設定
- 糖尿病有病者、血圧要治療者、生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合 → 「第2期なら健康長寿基本計画」において指標設定(予定)
- 妊婦に対する歯科口腔保健指導等の実施市町村数 → 食育推進に与える影響があまり確認できなかったため除外
- 食育推進委員会開催率(小中高) → 食育推進委員会の実施回数の変化は少ないと考えられるため除外、食に関する指導を実施する小中学校の割合について、新たに指標を設定
- 学校給食1食あたりの野菜使用量 → 学校給食実施基準に基づくため、野菜使用量の今以上の増加は難しいと思われるため除外
- 食品安全安心懇話会、食に関するリスクコミュニケーションの開催回数 → 開催回数の今以上の増加は難しいと思われるため除外
- 新規就農者数 → 食育推進に与える影響があまり確認できなかったため除外